

令和3年12月24日

**令和3年度「下總皖一音楽賞」の受賞者を決定しました
—埼玉県ゆかりのプロの音楽家を表彰—**

日本近代音楽の基礎を作ったといわれる埼玉県加須市出身の偉人、下總 皖一（しもおさ かんいち）。その精神を受け継ぐ音楽家を表彰する「下總皖一音楽賞」の受賞者を決定しました。

今年度の受賞者は、「音楽文化発信部門」がさいたま市在住でピアニストの小倉 貴久子（おぐら きくこ）氏、「音楽文化貢献部門」が越谷市在住でオペラ演出家の直井 研二（なおい けんじ）氏です。

● 受賞者及び受賞理由 ※受賞者のプロフィールは別紙をご覧ください。

1 音楽文化発信部門**○ 小倉 貴久子 氏**

ピアニスト

【本県ゆかり】さいたま市在住

【受賞理由】

古楽器のフォルテピアノを用いたピアニストとして、国内外で活躍している。主催公演を100回以上開催、CDを50タイトル以上リリースするなど、フォルテピアノによる演奏活動を数多く行っている。

2018年からは、埼玉県で「フォルテピアノ・アカデミーSACLA」と称する音楽祭を主宰し、県内から音楽を発信している。

※フォルテピアノ…現代ピアノのルーツとなる18世紀から19世紀前半頃のピアノの総称。

2 音楽文化貢献部門

○ 直井 研二 氏

オペラ演出家

【本県ゆかり】越谷市在住

【受賞理由】

NPO法人オペラ彩の演出家として、和光市を拠点に30作品以上のオペラの演出に携わる。

演出家として、オペラ彩を成長させるとともに、東京藝術大学他で直井氏の演出指導を受けた声楽家が国内外で活躍するなど後進の育成に力を尽くしている。

● 表彰式の概要

1 日時

令和4年2月3日(木曜日)14時10分から14時40分まで

2 場所

知事公館 中会議室

※今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況により、変更する場合があります。

■ 参考1「下總皖一音楽賞」の概要

【創設】平成24年度(10回目)

【対象】本県ゆかりのプロの音楽家

【部門】音楽文化発信部門

国内外で幅広く活躍され、今後、更なる活躍が期待できる方
音楽文化貢献部門

長年にわたり、本県の音楽文化の向上に貢献されている方

【選考方法】下總皖一音楽賞選考委員会での審査を経て、埼玉県知事が決定

【選考委員会】金山茂人委員長((公社)日本演奏連盟常任理事)他5名

【過去の受賞者】埼玉県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0305/ongakusyoutu/>

■ 参考2 下總皖一の功績

加須市出身の偉人。全国に知られた「たなばたさま」「花火」「野菊」などの童謡・唱歌をはじめ、日本各地の校歌、合唱曲、器楽曲、協奏曲、邦楽曲など多岐にわたる作曲を行い、その数は2,000とも3,000ともいわれている。

『和声学』『作曲法』などの著作で音楽理論を確立、東京藝術大学で音楽学部長を務め、数多くの素晴らしい音楽家を育てるなど、「作曲家」「音楽理論家」「音楽教育家」として日本近代音楽の基礎を作った。